

文化飛翔

報告～文化講演会を開催～

よこがお～会員紹介～

トピックス&インフォメーション

リレーエッセイ文化の小径

2009

春号 Vol. 4



文化講演会を開催

平成二十一年三月十八日(水)、県立山口図書館レクチャールーム(山口市)において、直木賞作家の古川薫先生と中原中也記念館館長の福田百合子先生を講師にお迎えして、文化講演会を開催しました。平日にもかかわらず、県内各地域から多くの方々にご来場をいただきました。

第一部 講演

演題…「地方の土壌から創り出すもの」
講師…古川 薫先生(直木賞作家)

冒頭、熊本県出身のシンガー・ソングライター、樋口了(とら)さんが唄う『認知症の歌』を紹介され、この歌には熊本の民謡「五木の子守唄」と同様に、地方の土壌が生んだ人間の温かさや優しさが込められていると話されました。そして、この歌のように、中央で評価され、全国に発信される文化や芸術を創り出す土壌が地方にはあることを、同人雑誌の創作活動を原点とし、その後中央で開花した多くの作家の話などを交えながら熱く語られました。

また、文化を中央志向的に楽しむだけでなく、自分たちの文化を創り出すことが大切であり、私たちの住んでいる地方に土壌としての文化の受け皿をつくり、みんなで文化を育てようという気持ちを持たなければならぬと強く訴えられました。

その他、先生御自身が、西国三人衆の



一人として、直木賞にチャレンジされていた頃のエピソードなど、普段はなかなか聞くことのできない貴重なお話も御披露いただき、会場の参加者は大変興味深く聞き入っていました。

第二部 対談

テーマ…「文化の力で地域を元気に」
対談者…古川 薫先生(直木賞作家)
福田百合子先生
(中原中也記念館館長)

福田先生が進行役となった対談では、古川先生の講演の内容を踏まえて、「文化の受け皿づくり」や「これからの文化の在り方」などをテーマにお話を進めていただきました。

古川先生は、文化を育てるには市民の参加が不可欠であり、このためには、文化や芸術に触れ楽しむことができ、文化の受け皿の拠点となる文化施設を日常生活の中に根付かせ、市民が支えていくことが大切であると話されました。また、福田先生は、歌を歌う、文章を書く、ポ

ランティアで作品展示に携わるなど、文化活動への参加の仕方は様々であるが、そうした人たちが生き生きと発表する場を創って、それを地方から発信していきたいと述べられました。

さらに、古川先生が昨年刊行された『斜陽に立つ』を執筆されていた当時の心境や、郷土のことを書く時の心構えなど、興味深いお話が次々と飛び出し、絶妙なテンポで進んだ対談は、大変盛り上がりしました。



◇終わりに

会場の参加者からは、「文化の受け皿の必要性を感じた」、「中央志向に傾く自分を改めたい」などの意見も聞かれ、大変有意義な講演会となりました。

山口県文化連盟では、山口県という土壌の中で、地域の文化を育て、文化に触れ参加する喜びや感動を多くの人に伝えていくため、これからも文化の受け皿づくりなど、様々な取組を進めてまいります。

第二回

山口県総合芸術文化祭を

振り返って

国民文化祭の成果を継承し、山口県のさらなる文化力の向上を図ることを目的として、第二回山口県総合芸術文化祭が開催されました。山口県文化連盟も、県や市町等と連携し、総合芸術文化祭の実施と運営に取り組みました。

メインフェスティバル

十一月一日から三日までの三日間、長門市のルネッサながとを会場として、「メインフェスティバル」を開催しました。

◆メインステージ

(開催日：十一月二日)

第一部 俵山子ども歌舞伎

長門市俵山地区に江戸時代から伝わる「俵山女歌舞伎」の継承に取り組み長門市の俵山小・中学校の児童・生徒による俵山子ども歌舞伎が披露され、華麗な踊りと堂々とした演技が観客を魅了しました。



俵山子ども歌舞伎

第二部 創作舞台公演「長門鯨回向外伝」

歌舞伎俳優の市川笑三郎さんが、長州捕鯨の中心地であった長門市に伝わる言い伝えや「鯨唄」、「鯨回向」

などの伝統行事、童謡詩人「金子みすゞ」の詩などを盛り込んで書き下ろした歌舞伎手法による創作舞台を、公募出演者と地元文化芸術団体の皆さんが熱演しました。公演は、会場を埋め尽くした観客の大きな感動を呼び、多くの方から再演の要望が寄せられるなど、大成功を収めました。



長門鯨回向外伝

◆子ども夢プロジェクト大発表

(開催日：十一月二日・三日)

国民文化祭からの継続事業として、子どもたちが自分たちの力で夢やアイデアの実現に挑戦する「子ども夢プロジェクト」の取組の成果が発表されました。

ステージ発表では、地元への応援グループを加えて十七グループ、約七〇〇名の子どもたちが、元気溢れる歌やダンス、劇、伝統芸能などを披露したほか、

プロジェクトへの取組過程を工夫を凝らして発表するなど、園児から高校生までが参加したステージは、パリエイティに富んだものとなり、会場は大いに盛り上がりました。



NETAROUキッズII



たちばな幼稚園

分野別フェスティバル

山口県文化連盟に加盟する県域文化団体が、七月〜十二月までの六箇月間にわたり、音楽や文芸、生活文化等、二十二分野の文化イベントを県内各地で開催しました。



第7回 山口県和太鼓の祭典



第36回山口県芸術演奏会

注目!

文化連盟の講師が地域の文化芸術活動をサポート 地域の文化芸術活動支援事業

山口県文化連盟では、地域の文化芸術活動をサポートするため、文化連盟の会員の中から、地域で行われる各種文化教室、学校での部活動等において実技指導や講義などを行う講師(指導者)を紹介し、派遣しています。

◆実施の流れ

- ①申込み申請(利用者) ↓ ②講師紹介(事務局) ↓ ③打合せ(講師・利用者) ↓ ④実技指導・講座等実施

◆経費負担

- ・山口県文化連盟の負担で、一回の指導につき交通費相当額二、〇〇〇円(税額控除後)を支給する。
- ・申請者(利用者)に謝金、交通費の支給は求めない。
- ・お花やお菓子などの材料費は申請者(利用者)の負担とする。

◆講師(指導者)の要件

- ・山口県文化連盟に加盟する団体(正会員)に所属すること。
- ・地域や学校等の文化芸術活動において実技指導・講義などが行えること。
- ・随時登録を受け付けていますので、多くの会員の皆様の講師(指導者)への登録をお待ちしています。

講師として参加して

戸山 和恵 (茶道裏千家淡交会)

普段は元氣いっぱいの子どもたちが、お菓子やお茶をいただく時は、お隣りに「お先に」と声をかけてから、そして「お点前頂戴いたします」と言ってお茶をいただきます。このような作法を通して、自然に思いやりと感謝の心が育まれています。帛紗のさばき方、箸や茶杓の清め方、茶筌の通し、茶盤の拭き方など一つ一つの手順が身につけて、心の込められたお茶を点てられるようになってほしいと思います。日本の伝統文化である茶道の心を、日常生活のいろいろな所で活かして、心豊かな人間に成長してくれることを願っております。



宇部市内の小学校にて

このコーナーでは山口県文化連盟の会員の皆さんを紹介しています。

萩市文化協会

会長 斉藤 武男
〒75818555
萩市江向510
萩市文化・生涯学習課内
☎083812513590



萩市文化協会は、国民文化祭やまぐちの開催を機に、市内で活動する文化団体の連絡協調と地域の文化向上に寄与することを目的に平成十八年九月二十八日に発足しました。現在団体会員六十四団体、個人会員八十五名、賛助会員十一団体(個人)が加入し、それぞれの分野で活動を展開しています。

発足から三年目ということで、まだ文化協会独自の事業を展開するまでには至っていませんが、他の団体との連携のもと徐々にではありますが、活動の幅が広がっています。特に、平成二十年度は山口県立萩美術館・浦上記念館との連携のもと、「萩まちなかアート・アートドキュメント萩百景二〇〇八」を開催しました。このイベントは、萩の歴史や文化、生活などをアート作品として表現・展示するもので、萩市内の商店街を中心に八月に開催されました。絵画や写真、彫刻、ステンドグラス、短歌、川柳などの展示部門と舞踊、歌、大正琴、コーラスなどパフォーミング部門、和太鼓、写真、萩人形、彫金などのワークショップ部門で開催し、展示部門では、田町商店街の空き店舗を利用しました。日頃は、活動分野が違々となかなか交流する機会が少ないのが現状ですが、こうした幅広いジャンルのイベントを一堂に開催することにより、会員相互の幅広い交流の場となりました。今後も、このようなイベントをおとして地域文化が広がるよう活動を展開していきたいと思っております。

玖珂町文化協会

会長 芳本 功
〒74210326
岩国市玖珂町4961
岩国市教育委員会玖珂支所内
☎082718215445

玖珂町文化協会は、昭和六十三年四月に設立されて以来、多くの先輩や玖珂地域の皆さんにささえられ、平成二十年四月に創立二十周年を迎え今日に至っています。

現在約八〇〇名の会員で構成され、芸能文化部二十九グループ、創造文化部十一グループが加入し、多方面にわたって活動しています。

文化協会の主な活動は、協会の広報紙「文協くが」を年四回発行しています。一月号は、域内全戸に配布し、読みやすいと皆さんから好評をいただいています。

毎年二月には「芸能まつり」六月には「歌と踊りのフェスティバル」を開催し、玖珂こどもの館ホールがわれんばかりの観客を集め、一〇〇人を超す出演者でにぎわいます。

九月には、写真展・絵画展を開催、十月には観月会、一月には、「百人一首」新春カルタ大会を開催しています。

また、会員相互の親睦をはかるため、日帰り旅行、一泊二日旅行を実施し、会員から安くて楽しいと好評を博しています。

さらに、理事・役員研修旅行も実施しています。玖珂町文化協会は、今まで活動して来た以上に地域文化の向上、発展に貢献できるよう頑張りたいと思っております。



山口県合唱連盟

会長 末廣 正巳
〒75310056
山口市湯田温泉314124
☎083192011766

山口県合唱連盟は、終戦間もない昭和二十年十月、県内の合唱団の発展や交流を目指し、全国に先駆けて発足しました。現在は、中学校、高等学校、大学、職場、ジュニア、一般の六部門合わせて約六十団体が加盟しています。

活動の柱は、「合唱コンクール」と「おかあさんコーラス大会」の開催です。中国大会、全国大会へと続いている合唱コンクールでは、



平成二十年度には山口市立川西中学校有志合唱団が県勢としては初めて全国金賞を獲得しました。おかあさんコーラス大会でも、山口市のララアンサンブルが全国大会の優秀団体に贈られる「ひまわり賞」を受賞しています。また平成二十二年度から、合唱の裾野を広げることを目的とした「歌フェス」を、おかあさんコーラス大会と同時に開催したり、全国トップレベルの指導者らを招いた合唱講習会などの普及活動にも力を入れています。ちなみに今年度は、合唱コンクールを周南市で、おかあさんコーラス大会と歌フェスは山陽小野田市で開く予定です。

平成十四年に山口きらら博の開催一周を記念して行われた「第九演奏会」や、平成十八年の「国民文化祭やまぐち」などを通して、合唱を愛する県民のエネルギが高まっています。そのエネルギは、再来年に迫った「おいでませ山口国体」においても発揮される機会が訪れるでしょう。今後も、歌を、芸術を愛する人々を大切にしながら活動を続けていきたいと考えています。

山口県詩人懇話会

代表 陶山 祐二
〒74710002
防府市酢貝11-27 陶山方
☎083513810679

山口県詩人懇話会は、一九六四年に結成され、地道な活動を続けている。

昨年の「第二回山口県総合芸術文化祭『08やまぐち県詩祭』」は、十一月二十三日に、周南市で開催した。詩人懇話会賞を受賞したのは、柘植恭子の『国境線』。第二次世界大戦の後、朝鮮半島を二つに分けた北緯三十八度線を北から南に逃げたとき、三歳の弟の片足から脱げた靴が中心になっていて、読む者の心の奥底に迫る作品である。

記念講演の講師は小松英生氏で、演題は「漢詩のおもしろさ」。ちよつと近寄りが見たい感じのする漢詩が、実は、とてもおもしろいものであることが、幾つかの作品によって教えられた。単なる語句の解釈ではなく、作者たちの人間性がそのまま伝わってくる、魅力のある講演であった。

『08現代山口県詩選』は、十一月十日に発行され、登載者は一〇六名。形式も内容も多様であるが、概して言えば、それぞれの作者の生活に結びついた作品が多い。すべてに共通するのは、注意深く見て、ことばを選び、真実を表現しようとする姿勢である。結果として、詩の作品集であると同時に、この時代の証言ともなっている。

これからも、詩にかかわる人々を助ける努力を続けたい。山口県詩人懇話会の活動が多くの人に理解され、詩の作品を進んで寄せていただきたいと願っている。



財山口市文化振興財団

理事長 池部 豊
〒75310075
山口市中園町717
☎083190112222



財団法人山口市文化振興財団は、平成八年三月に、山口市における文化振興を図るため、企画事業の実施と市民の自主的かつ創造的な文化活動を支援し、個性豊かな地域社会の形成と市民生活の向上に寄与することを目的として設立されました。

現在、山口市から指定を受け、山口市民会館、中原中也記念館、山口情報芸術センター「YCAM」の三館の管理運営及び自主事業として、各種文化事業の企画・実施、市民文化活動の支援事業を行っております。



山口市民会館では「山口市民文化の会」と連携し、音楽演奏会や、市民参加型コンサート等を実施。中原中也記念館は、郷土の詩人中原中也を顕彰する文学館として研究、展示のほか、関係資料の調査、収集を行っています。山口情報芸術センター「YCAM」は、メディアアテクノロジを用いた新しい芸術を国内外へ発信するとともに、メディア教育にも力をいれている他に類の無い活動が認められ、昨年JAFRAアワード（総務大臣賞）、公共建築賞（国土交通大臣表彰）を受賞し、五周年に華をそえてくれました。

このように多岐にわたる文化事業を通じ、また他の文化団体、施設とも連携しながら、山口市ひいては山口県の文化振興の一助となることを念頭に日々運営を行ってまいりたいと思っております。今後とも皆様のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願いいたします。

山口県小学校管楽器教育研究会

会長 芝口 英夫
〒74710028
防府市東松崎町1-1
松崎小学校内
☎083512213500

山口県小学校管楽器教育研究会（略称「山口県小管研」）は、平成三年に山口県下の小学校のブラスバンドやマーチングバンド指導者で発足した任意団体です。

本会は、管楽器を活用している学校または指導している教師が相互に協力し、管楽器を使用した活動を通して音楽教育の向上、発展に寄与することを目的として活動しており、平成二十年度は、十六団体、個人会員四名で活動しています。

主な活動として、管楽器の指導にかかわる研究会・講習会の開催や指導法に関する資料の紹介・配布・情報交換などを年間に5回程度行っています。毎年二月中旬には、防府市公会堂において防府市小学校管楽器教育研究会との共催で演奏会を開催しています。また、同じく毎年二月上旬に神戸文化ホールで行われる西日本小学校管楽器合奏フェスティバルには、本会加盟団体から山口県代表を送り出しています。

近年は、九州や奈良県など県外の団体との交流も多く、演奏技術の向上や指導者同士の交流、情報交換なども盛んに行われています。

本会では、ブラスバンドやマーチングバンド、また指導者個人の加盟をお待ちしています。管楽器に関する活動・運営・指導についてのご相談も受け付けておりますので、お困りの団体はお気軽にご連絡をいただければと思います。



山口県からの お知らせ

平成二十一年度 文化関係事業の概要

■山口県総合芸術文化祭推進事業

県下最大の文化の祭典「山口県総合芸術文化祭」を今年も開催します。第三回となる今回は、シンフォニア岩国を会場に、県民創作型公演と子ども夢プロジェクト大発表を中心とするメインフェスティバル、県内各地で音楽、舞踊、生活文化などの分野別フェスティバルを実施します。多くの県民の皆様の御参加をお待ちしています。

〈概要〉

・メインフェスティバル

開催時期 十一月一日(日)～三日(火・祝)

開催場所 シンフォニア岩国

・分野別フェスティバル

開催時期 七月～十二月

開催場所 県内各地

■美術館まちなか交流促進事業

美術館が、商店街や文化団体など、地域の人たちと一緒に、「まち」を舞台にして、作品展示やワークショップなどアートに関する様々なイベントを実施し、文化芸術による地域の新たな魅力づくりとその発信を進めます。

〈概要〉

・県立美術館◆HEART(ハート) 2009

開催時期 十月

・萩美術館・浦上記念館◆萩まちなかアート

開催時期 十月～十一月

■萩美術館・浦上記念館萩焼展示施設整備事業

萩美術館・浦上記念館に、新たに陶芸美術館の機能を加えて、美術館としての一層の魅力を高め

るため、平成二十二年秋季の開館を目指して、隣接地に陶芸展示施設を整備します。

情報満載！県ホームページ 「文化情報やまぐち」

県内で開催される文化イベント情報や文化芸術団体、芸術家・指導者等に関する情報のほか、県民の皆様に文化芸術に親しむを持っていただくための様々な文化芸術情報を収集し提供しています。



主なコンテンツ

◇イベント・募集案内情報

山口県文化連盟加盟団体や文化施設等が行う文化芸術に関するイベント等の情報を提供しています。

◇文化人材バンク・文化芸術団体一覧

地域や学校等において実技指導や講義などを行うことのできる芸術家・指導者等や、県内で活動されている文化芸術団体の情報をデータベース化し公開しています。

◇見た！聴いた！やまぐち文化レポーターがゆく！

「やまぐち文化レポーター」が、県内各地で開催される文化芸術活動取材して、様々な視点から文化芸術の魅力をレポートします。

◇文化ボランティア

文化ホール、美術館、図書館などの文化施設等において文化芸術活動の側面的な支援に取り組んでいるボランティア活動団体の情報を掲載しています。

*文化人材バンク・文化芸術団体の情報の充実に向けて、多くの皆様の御登録をよろしくお願いします。

*各種情報については、直接、インターネット上から登録することも可能です。

○文化情報やまぐちホームページアドレス

<http://bunka.pref.yamaguchi.lg.jp/bunka/>

◆お問い合わせ先

山口県文化振興課

☎ 083-9333-2610

FAX 083-9333-4829

E-mail a19300@pref.yamaguchi.lg.jp

平成二十年度

秋の文化・芸術関係 表彰受賞者の皆さん

■文化功労者

澄川 喜一

■叙勲

野坂 康起(旭日双光章)

早川 定雄(旭日双光章)

福田百合子(瑞宝中綬章)

地域文化功労者表彰

館村 秀子(芸術文化関係)

花笠踊保存顕彰会

(文化財保護関係)

山口県選奨

森重香代子(文芸/短歌)

小西 守(文芸/川柳)

釋野 憲章(音楽/邦楽)

大和 祐二(美術/陶芸)

山口県文化功労賞

橋口 照男

(一般文化/文化団体の活動)

安田 羊佑(舞踊/ダンス)

多田美千代

(文芸/郷土文学の研究)

音羽 晃(文芸/短歌)

今井 徹也(美術/建築)

金井 道子(美術/写真)

三木 妙子(音楽/器楽)

山口県音楽協会

(音楽/総合)

吉部文化推進会

(演劇/伝統芸能)

文化芸術活動に対する各種支援情報をご紹介します。
* 近く募集が予定されているものなどを掲載しています。

（財）エネルギー文化・スポーツ財団が行う文化活動支援事業について

◇ 平成二十一年度 エネルギー文化・スポーツ財団助成事業（後期）

○ 対象者

中国地域に所在する文化・スポーツに関する団体

○ 対象事業

美術の展示活動、音楽の公演活動及び伝統文化の保存・伝承・復活・復元・発表活動であって、中国地域在住者が過半数を占め中国地域内において行われる活動

※平成二十一年十月一日から平成二十二年三月三十一日までに行われる事業が対象です。

○ 助成金額

助成対象経費の二分の一を限度
（原則二〇万〜五〇万円／一件）

◇ 募集期間等

○ 募集期間（予定）

平成二十一年五月から六月

○ 申込方法

当財団所定の様式の申込書に必要事項を記入のうえ、県（文化振興課、社会教育・文化財課又は学校安全・体育課）又は当財団事務局に提出。

※申請があった事業が全て助成されるとは限りません。

◇ お問い合わせ先

エネルギー文化・スポーツ財団事務局
〒730-0041

広島市中区小町4-33 中国電力内

☎ 082-542-3639

FAX 082-542-3644

Email zj00005@pnet.gr.energia.co.jp

企業メセナ協議会

助成認定制度について

■ 助成認定制度とは

民間の芸術文化支援を税制面から促進する制度で、支援者（企業や個人）と芸術活動を行う団体や個人の双方にメリットがあります。

○ 支援者（企業や個人）のメリット

社団法人企業メセナ協議会を通じて芸術・文化活動への寄付を行うと、税制上の優遇措置が受けられます。

〈法人の場合〉

一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で、もうひとつの損金算入が認められます。

特定公益増進法人への損金算入限度額

$$\begin{aligned} & \parallel (\text{資本等の金額} \times \text{当期の月数} / 12 \times 2.5 / 100 \\ & + \text{所得の金額} \times 5 / 100) \times 1/2 \\ & * \text{「資本等の金額」は、資本金と資本積立金額の合計額です。} \end{aligned}$$

〈個人の場合〉

所得金額の四十%を上限として、寄付金の合計金額から五千円を差し引いた金額が、課税所得から控除されます。

*二〇〇七年より（平成十九年度税制改正）

○ 芸術活動を行う団体や個人のメリット

企業や個人からの寄付金を集めやすくなります。

○ 申請者の資格

・ 営利を目的としない法人あるいは任意団体で、定款か寄付行為、規約を有し、代表者の定めのあるもの

・ 芸術活動を行う個人

・ プロフェッショナルな芸術家・芸術団体、アマチュアのうち、プロ並みの活動を行う団体・個人等

○ 対象となる活動

・ 分野
音楽／美術／演劇／舞踊／映画／メディア芸術（マンガ、アニメーション等）／文学／芸能（伝統芸能、民族芸能等）／生活芸術（茶道、華道、ファッション等）・形態

芸術作品の発表活動（公演、展覧会）／芸術の普及向上を目的として広く一般に公開される活動（芸術祭、コンクール、セミナー等）

* 活動の内容によつては対象とならない場合もあります。

※本制度に関する詳細は、ホームページ（<http://www.mecenator.jp>）で紹介されています。

◇ お問い合わせ先

山口県文化振興課

☎ 083-933-2610

FAX 083-933-4829

社団法人企業メセナ協議会（助成認定制度担当）

☎ 03-3213-3397

FAX 03-3215-6222

文化の小径

生きる力



山口県吹奏楽連盟
理事長
重広 昭雄

昨夏の北京オリンピック。金メダルという最高の結果を得た全日本ソフトボールチームの活躍に、全試合ともテレビに釘付けになった。そのエース・上野由岐子選手が先日、「私の一冊」という番組に出演していた。彼女が紹介した一冊は「小さな夢の特集 第六集・ひとりぼっちの愛の詩」(須永博士・著)。その中の一編「絶望より立つ」は、上野選手が小学校六年生の時に出会い、無気力だった彼女に感銘を与え、強靱な精神力を育む契機となった詩だという。早速書店で求めてみた。表紙には「人に負けてもいい。しかし、やるべきことをやらない自分の弱さには、絶対負けたくない」。次ページでは「絶対やろうと決めたことです。どんなことがあっても、自分の夢をつくるまで愛をつかむまで、わたしは明るくがんばりつづけます」。

作曲家・松村崇徳氏(NHK連続テレビ小説「だんだん」の音楽担当。ちなみにNHKがドラマの音楽担当に二十代の若手を起用したのは、今回が初である。)が出演していた。「私は、五歳からピアノを学び、壮絶なレッスンの日々を過ごした。付添いの母親が「鬼」に思えた。」と回想していた。また彼は、「次第にピアノの練習でなく、ピアノを友達にして創作活動(作曲)で遊ぶようになった。」とも述べていた。

近年、学校教育では「生きる力」の育成が強く叫ばれている。子ども達の発達段階に応じた基本的な生活習慣の定着(躰)や「知・徳・体」をバランス良く成長させていく支援をすることが重要だと思われる。多感な若者達が将来の夢を実現するために暗中模索し、苦闘しながら進んでいくことが、まさしく「生きる力」ではないか。

私は三十七年間高等学校に勤務し、部活動で音楽の歓びと感動を求め、生徒と汗を流してきた。また私達の連盟では、笑顔で充実感(生き甲斐)を感じながら一生の思い出となるような吹奏楽事業の展開を目指している。私の願いは「おいでませ！山口国体」のスローガンでもある「君の一生けんめいに会いたい！」である。

◀全国大会 金賞
山口市立上郷小学校
(帰強メッセ2008. 11. 22)



コンクール大賞▶
山口県立岩国商業高等学校
(下関市民会館2006. 7. 29)



賛助会員を募集しています

本連盟の活動に御協力いただける賛助会員(個人又は団体)を広く募集しています。

年会費 1口 5,000円

- ＊賛助会員の皆様には、会報、その他文化情報誌をお届けします。
- ＊入会受付は随時いたしておりますが、会員期間は入会日からその事業年度の3月31日までとさせていただきます。

申込方法

所定の入会申込書兼振込書にて年会費のお振り込みをお願いします。

詳しくは、山口県文化連盟事務局までお問い合わせください。

編集後記

直木賞作家の古川薫先生と中原中也記念館館長の福田百合子先生をお迎えしての文化講演会では、多くの皆様の御来場をいただき、無事終了することができました。

文化連盟では、今後も、県民の皆様御協力と御支援をいただきながら、文化芸術に対する理解や関心を深めてもらうような様々な事業に取り組んでまいります。